

えんだより



1月中旬に、職員が新型コロナウイルスに感染し陽性反応が出たことにより、ご心配をおかけいたしました誠に申し訳ございませんでした。

また、保護者の皆様にはご協力を頂き感謝いたします。

2月2日は節分です。今年の豆まきでは、昨年春からジワジワと勢力を伸ばしてきている“新型コロナウイルス”と言う強力な鬼を退治しなければなりません。

保育園は子どもが昼間生活する集団生活の場であり、引き続き「手洗い」「うがい」を励行し、3密を避け、新型コロナウイルスが近づいてもそれぞれの立場で跳ねのける努力・工夫・予防を今後もしていきます。

感染が終息に向かう迄は、保護者の方にもご協力を要請することもあるかもしれませんが宜しくお願い致します。

★子どもの成長について④

「子どもを一人の対等な人間と認識しましょう」と言うと、子どもに考えさせて、責任も持たせ、失敗したら追求する親がいます。

例えば、欲しいと言われて買ってあげた玩具を当初少し遊んだだけで飽きてしまうことがあります。

「あなたが買ってと言ったから買ってあげたのに、どうして遊ばないの!! もう、何も買ってあげないから!!」と上から目線で言ったことはありませんか?

買って欲しかった時の子どもの気持ちを考えてみます。

『欲しい』の気持ちの中には、家族と楽しく遊ぶ自分の姿を想像しています。でも欲しかった物でも一緒に遊んでもらえず一人で遊ぶつまらなさ、更に「これからは欲しい物があっても言えない」と感じて、大人に頼る事の出来ない失望感。

何かをする前には子どもと相談し、話し合いをしてお互いに納得した上で行動するのが子どもと対等に接する事になるのです。



★保健室より

子どもの窒息・誤嚥事故に注意しましょう。

＜防止するための注意事項＞

- *豆やナッツ類など、硬くてかみ砕く必要のある食品は5歳以下の子どもには食べさせないでください。
- *喉や気管に詰まると、窒息死する可能性が高くなるので大変危険です。小さく砕いた場合でも、気管に入り込んでしまうと肺炎や気管支炎になるリスクがあります。
- *ミニトマトやブドウなどの球状の食品を丸ごと食べさせると、窒息するリスクがあります。乳幼児には、四等分する・調理して柔らかくするなどして、よく噛んで食べさせましょう。
- *食べている時は、姿勢をよくし、食べることに集中させましょう。物を口に入れたままで、走ったり・笑ったり・泣いたり・声を出したりすると、誤って飲み込んでしまい窒息、誤嚥するリスクがあります。
- *眠い時に、無理に食事をするのはやめましょう。
- *2月は節分の豆まきもありますので、個包装の物をしようするなど子どもの口に入らないように工夫しおこないましょう。
- *食事中は、子どもの口に合った量や、口の中に食べ物が残っていないことの確認をしましょう
- *汁物などの水分を適時与えるなどに注意して介助しましょう。



(出典：消費者庁資料)

★給食室より

2021年の節分は、1897年以来124年ぶり、例年よりも1日早い2月2日(火)となります。それは一体なぜでしょう。

節分とは各季節の始まりである立春・立夏・立秋・立冬の前日のことを指していて、立春は、国立天文台が天文観察に基づき定めています。

現在は立春の前日が節分とされています。日付の変動は、地球の公転周期が約365.2422日と、1年間の365日から微妙にずれているため生じます。その誤差の積み重ねで1984年は2月4日で例年より1日遅く、今年は124年ぶりに前日の2月2日となります。

去年は『鬼』が流行した1年でした。今年も『鬼』に向かって豆まきを行い、邪気を祓い、より良い一年になるよう一生に一度の2/2の節分を楽しんでください。

今年はコロナウイルスの影響で残念ながら保育園での食育が例年のように行えていません。

在宅時間が増えている今、春が旬の野菜『新玉ねぎ・そらまめ』の皮をむいたり、『キャベツ・カリフラワー』をちぎってみたり、

『皮付きたけのこ』をぬかた鷹の爪を使用してあく抜きをすると

退屈しのぎや、スキンシップになり、食材を知る機会になると思うのでぜひご家庭でもお子さんと一緒に行ってみてください。

